

☎ 56 3510  
FAX 56 7930

〒329-0611  
上三川町大字上三川3970

# 中央公民館

## 臨時休館のお知らせについて

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、上三川町中央公民館は臨時休館いたします。

つきましては、当分の間、公民館の貸館については中止させていただきます。主催講座の申し込みも受付いたしません。

なお、開館できるようになりましたら、改めて広報、かみたんメール、ホームページ等でお知らせいたします。ご理解の程よろしくお願いいたします。

## 公民館主催講座の中止及び変更について

☆新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月号でお知らせいたしました講座を中止させていただきます。ご理解の程、よろしく願います。

### 【中止する講座】

- 合同開講式・講話 (5月1日)
- はっぴいMama講座 (全4回分)
- 女性学講座 (全7回分)
- 子育て講座 (全5回分)
- はつらつシニア講座 (全7回分)
- 男の生活工房 (全7回分)
- はじめてのウクレレ教室 (全5回分)
- 手芸教室「はじめての七宝焼き」(全6回分)
- 園芸教室「ハーブのコース」(全5回分)
- 園芸教室「野菜のコース」(全2回分)
- おしゃべりサロン (5月12日分)
- 音楽講座「うたこえサロン」(全15回分)
- 家庭の料理教室 (6月10日分)

## 町の偉人世界的折り紙作家 吉澤章先生について

創作折り紙作家の故吉澤章先生は、明治44年に上三川町で生まれ、13歳で上京すると、働きながら折り紙を研究しました。吉澤先生が折り紙を一生の仕事にしようと決めたのは、まだ、社会が混乱する戦後間もない頃でした。この頃の折り紙は美術作品としての地位は低く、他の芸術作品と同等に見られることは並大抵ではありませんでした。しかし、このようなかた、吉澤先生の才能を認める人たちがこの出会いが、人生を大きく変えることとなりました。

昭和25年に美術造形作品として折り紙を初めて発表。昭和29年には、「国際折り紙研究会」を設立すると、翌年には海外初個展をオランダ・アムステルダムで開催しました。昭和34年にニューヨークでその作品展を行う頃には、「折り紙」は世界共通語の「ORIGAMI」として広がり、海外で徐々に盛んになって行きました。その後、吉澤先生は世界約50カ国に赴き、創作折り紙の普及に努めるとともに、国際交流にも多大なる功績を残しました。



中央公民館では、今後も折り紙講座等を企画していきます。

一方、国内においても、昭和38年に「たのしいおりがみ」にて毎日出版文化賞(人文・社会部門)を受賞、更には昭和58年に折り紙による文化普及の功績により、勲五等双光旭日章を受章するなど、非常に高い評価を受けました。

そして、平成15年に故郷上三川で初の作品展を開催し、58日間の開催期間中に1万5千人が来場し、上三川町が生んだ世界的な作家の作品の素晴らしさを、多くの町民が目当たりしました。しかし残念ながら、平成17年に折り紙に全てを捧げた92年の生涯の終焉を迎えたのです。

吉澤先生の折り紙は創作のテーマを、広く世界の事物に求めることとし、自然界のあらゆる動植物、地球や宇宙の現象にまで視野を広げる一方、写実として捉えるのではなく、日常の生活、更には人の心の移ろいも、一枚の紙に託して表現をしました。このような吉澤先生の折り紙の原点は、故郷の上三川にあったと語っています。

吉澤先生はその生涯において、約2万点に及ぶ作品を残していますが、ご遺族により平成21年より現在に至るまで上三川町に多くの作品が寄贈されています。

